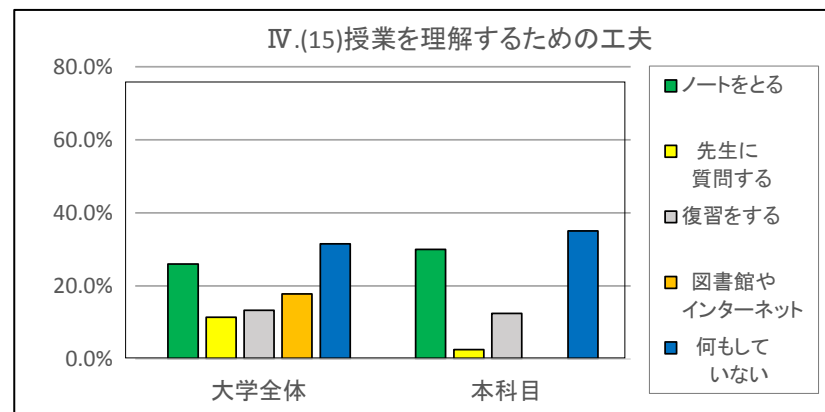


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	30.0%	2.5%	12.5%	0.0%	35.0%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.53	3.45
	I.(2)	3.55	3.56
	I.(3)	3.15	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.83	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.20	3.33
	II.(8)	3.15	3.42
	II.(9)	3.10	3.30
	II.(10)	2.90	3.23
	II.(11)	3.00	3.21
	II.(12)	3.28	3.48
	II.(13)	3.30	3.45
満足度	II.(14)	3.33	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.41	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.09	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.33	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	33103
科目名	英語Ⅱ
教員名	森 基雄

①授業計画の達成度について

比較的平易な英文で書かれたプリント教材を用いて、クラス間の学力格差を考慮に入れつつ、基本的な文法、語彙の確認と同時に英語の読解力、語彙力の向上に努めた半期15回の授業は計画どおりすべて無事に終わることができた。そして学生の英語の基礎学力の確認と向上におおむね寄与できたのではないかと思う。難易度に関して、数値を見る限り、おおむね適格であったと思う。

②授業の進め方について

教材としては環境問題、英語の歴史に関するもの、メールのやり取りの英文に英作文を加えたものを用いて授業を進め、また学生側の理解度がより確かなものとなるよう授業終了時に復習として毎回、単語と熟語、そして英作文の小テストのようなものを課した。また時には私語も若干あったが、そのたびにしっかり注意し、授業の進行への影響はなかった。学生側の満足度についてであるが、前期に比べ全体としては満足度の数値はかなり上がっていた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

前期に続き、口頭での説明と徹底した板書によって学生側の理解度向上を目指し、しかも前期での反省から板書の文字をより大きく丁寧にするよう努めたこともあったせいか、満足度の数値が前期はやや低調であったA、Bのクラスについても数値をかなり上げることができた。次年度も前期から今年度とほぼ同じスタンスで臨むつもりであるが、教材にも若干手直しを加えて中身をより充実させ、多様な学生ゆへの学力格差にさらにしっかり対応できるよう力を尽くしたい。